

新聞多読習慣による論理思考力の形成
～日々実践事項と総合学習をとおして

鵬翔中学校
教諭 宮崎健史

1. 取り組み意義について

本校は大学受験にベクトルを置く。とりわけ、平成31年大学入試センター試験の地理B科目にて、口蹄疫など宮崎県が大問に出題された。平成31年1月22日付宮崎日日新聞「くろしお」にも掲載されたように、新聞を読んでいたれば容易に解ける内容だった。

平成30年度現在の高校1年生における大学入学試験が変化するといわれる。そのため、論理思考力形成の一助として、また教養力の一助として、新聞多読習慣を身につけさせることにある。

2. 学習委員会（35名）活動から見た本校の現状について

NIE活動終了後に、学習委員会に4つの質問をした。

1) 新聞を購読しているか。

購読している（17名） 購読していない（18名）

購読紙 宮日（13名）・毎日（2名）・朝日（1名）・読売（1名）

2) NIE終了後にニュースを見る時間が増えたか。

変化なし（25名） 増えた（9名） 減った（1名）

参考資料「どの媒体を通して情報を得るか」

新聞（17名） インターネット（25名） ラジオ（6名） 雑誌（4名）
テレビ（31名）：NHK（10名）UMK（20名）MRT（10名）それ以外（9名）

3) NIE時に自身がまとめた記事の内容を覚えているか。

覚えている（32名） 忘れた（3名）

4) NIE終了後に何が変わったか。

文章力が身についた・ことばが出るようになった（21名）

漢検にもいい影響があった（1名）

国語の成績が上がった（1名）

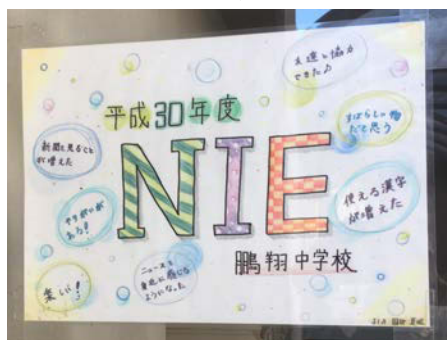
英語の長文の読解力が少しできるようになった（3名）

3. 新聞受け取り学年とクラスについて【平成30年度6月7月(2ヶ月)】

| No. | 新聞 期間 | 学年 | クラス |
|-----|--------|----|-----|
| 1 | 宮崎日日新聞 | J1 | A |
| 2 | 宮崎日日新聞 | J1 | B |
| 3 | 朝日新聞 | J2 | A |
| 4 | 毎日新聞 | J2 | B |
| 5 | 日経新聞 | J3 | A |
| 6 | 読売新聞 | J3 | B |

4. 新聞受けについて (集配→中学校)

中学南口玄関に、「NIEポスター (学習委員会担当)」を掲示した。



5. 新聞受け取りについて (中学校→校舎へ)

職員が、2F廊下に設置する机の上に、生徒が登校する前に置く。生徒登校後、クラスの担当者が新聞を取りに来る。

6. 新聞発表の仕方について

①日々実践→担当生徒が「パネル」にて発表する。



i 記事を選ぶ ii その記事を選択した理由 iii 記事の要約 iv 自由欄 (意味)

クラスの数によっては、学級担任の裁量に委ねる。

7. 文化発表会「NIE発表 情報社会との向き合い方 (学習委員会)」

本校の文化発表会は、2日間に分けて行われる。1日目は市民文化ホールへ移動し、音楽業界や声優業を中心に幅広く活躍される方々をお招きし、芸術に触れる。2日目は個人発表が中心である。その個人発表の中に、NIE発表会を盛り込み、生徒（学習委員会）主催で進行される。

今年のテーマは、携帯スマホ依存など多くの中学生が被害にあうことから、「情報社会との向き合い方」に視座した。そこで、生徒レベルでの様々な視点から主張した。下記はその時のテーマと会場の様子である。

| | | |
|-----|-------|-----------------|
| J1B | 郡 咲輝 | 『未成年依存各国で問題』 |
| J1B | 前田 海南 | 『高機能カメラスマホ続々』 |
| J2A | 佐藤 知優 | 『「帰れない」都市まひ』 |
| J2A | 稲井 風香 | 『患者支援アプリ続々』 |
| J2B | 渡邊 舞 | 『震災経験者 SNS で助言』 |
| J3A | 宮原 さり | 『セブンがネットコンビニ』 |
| J3A | 小田 桜子 | 『インド農業 IT で変身』 |

会場の様子



8. 生徒の感想より

【1年生より一部抜粋したもの】

「一番変わったことは、新聞を読むことに興味を持ったことだ。新聞には最近の出来事や社会の様子が詳しく書かれるため、深く学ぶことができた。記事を見ることで、発想力、多面的なものの見方を学ぶことができた。新聞をとおして自分自身の意見を持つこともできた。これからは、人前で自身のしっかりとした意見を主張することだ。」

【2年生より一部抜粋したもの】

「私が記事を選ぶ前までは、北朝鮮とアメリカの関係について詳しく知ることができなかったが、記事を選んで読み解くまでに、その内容が頭に入ってきて、周囲の人にその出来事を解説することができるまでになった。このおかげで、私は一つの知識を得ることができた。」

【3年生より一部抜粋したもの】

「長い文章を短くすることから苦戦していた1年生の頃より、確実に要約力が付いたと思う。記事を選んだ理由と読んだ感想を書く過程では、新聞を読みこなしていくうちに、もうワンランク上の文章力が定着し、例えば、国語の自分自身の解答用紙を振り返れば、空欄補充問題や記述問題も空欄になることがなくなった。」

9. 感想

本校は、NIEを継続して少しずつではあるが学習方面にて効果が生じる。例えば、生活の記録（学級担任との連絡ノート）では、数年前と比べることができないほどに文章力がついている。また、文化発表会のNIE発表会では、日々学習してきた取り組みを深く学ぶことができた。

次年度こそ中高一貫での取り組みを形にしたい。

以上を実施報告とさせていただきます。